

製品名: シンタキシン 1A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87650**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:33 kDa; Observed MW:33 kDa

抗原情報

遺伝子名	Syntaxin 1A
別名	STX1; HPC-1; P35-1; SYN1A
遺伝子ID	6804, 20907, 116470
SwissProt ID	Q16623, O35526, P32851
免疫原	ヒトシンタキシン 1A の組み換えタンパク質

背景

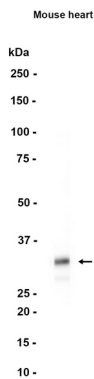
この遺伝子はシンタキシンスーパーファミリーのメンバーをコードしています。シンタキシンは神経系特異的なタンパク質であり、

シナプス小胞とシナプス前細胞の細胞膜とのドッキングに関与しています。シンタキシンは、C末端に単一の膜貫通ドメイン、SNARE (可溶性 NSF (N-エチルマレイミド感受性融合タンパク質) -接着タンパク質受容体) ドメイン (H3として知られる)、およびN末端に調節ドメイン (Habc) を有しています。シンタキシンはカルシウム依存的にシナプトタグミンに結合し、C末端のH3ドメインを介して電圧依存性カルシウムチャンネルおよびカリウムチャンネルと相互作用します。この遺伝子産物は、イオンチャンネルの制御とシナプス開口放出における重要な分子です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009年9月]

研究分野

-

画像データ



シンタキシン 1A ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。